

打撲

患者様情報

来院されるまでの症状

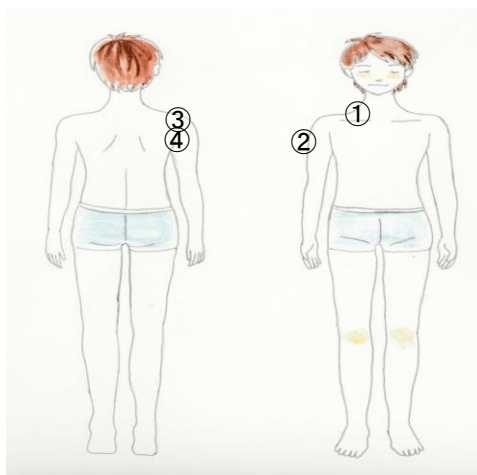
- ・2021年からぎっくり腰をきっかけに、知り合いの紹介で秀鳳に通院するようになりました。
- ・2022年6月、趣味のロードバイクで走っていたところ、右肩から落ちてしまったそうです。レントゲンでは異常はみられず、腫れ、熱感、可動域制限（肩関節外転）などの炎症所見があり打撲と診断されました。
- ・仕事で腕を挙げる機会が多いため、打撲した次の日に来院されました。

患 者 様	50 代 男性
初 診	2021 年 3 月
既 往 症	偏頭痛、花粉症
他 の 症 状	首こり、肩こり、腰痛、左膝の痛み

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・右肩「臂臑」付近が赤く腫れ、見た目にわかるほどでした。
肩関節の外転の動作が痛い様子でした。
- ・「巨骨」「臑兪」を「臂臑」方向に浅めに置鍼し、筋緊張をとっていきました。
「欠盆」にやや深めの鍼を刺入して「臂臑」付近まで響かせる施術を行いました。
- ・打撲にはお灸が有効なので「臂臑」に優しいお灸を据えました。



■ 初診後の経過

- ・施術後、熱感や腫れは軽減し、肩関節外転の動きも改善されていました。
- ・患者様からは「鍼やお灸でここまで改善するのにはびっくりしました。」と、喜びの声をいただきました。

使用した主要なツボ

- ①欠盆（ケツボン） ②臂臑（ヒジュ）
③巨骨（ココツ） ④臑兪（ジュユ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・打撲をきっかけに鍼に来る患者様は少ないとは思いますが、この症例をきっかけに鍼やお灸は打撲にも効果的なことが広がれば嬉しいです。
- ・6月に入ってから、梅雨の影響で、湿度が高い為注意力が散漫になっている患者様が増えているように感じます。
知らないうちにできた「打ち身」、今回のような事故による「打撲」、「内出血」などには優しいお灸が症例実績を上げています。ぜひご相談ください。